

ヒューリスティック分析OSS ツールのUXレビュー

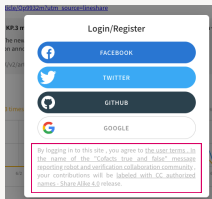
#6: 効率性と必要なときの情報提供

ユーザーの認知的負荷を軽減するために、オブジェクト、操作、オプションを常に見える状態にしておきましょう。ツールを使うために情報を覚えておく必要がないようにすることが大切です。適切な場面では、指示が目に見える、または簡単に取り出せるようにしておくべきです。

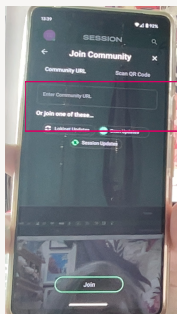
ユーザーが必要とするであろう場所やタイミングで、ヘルプやドキュメントを提供してください。情報は、ユーザーが探す手間を省くためにも、自由にかつオープンに提示しましょう。経験豊富なユーザーにはプロセスをスムーズにするため、初心者には「学びの機会」となるよう、デフォルト設定、ヒント、情報が含まれた空の状態（まだ情報がない状態）を活用してください

- ・プライバシー保護のためのアクションを完了するのに必要なクリックまたはタップの数を数え、プライバシーに無頓着な選択肢より複雑にならないようにしてください。
- ・重要なワークフローやプロセスを中断するのではなく、画面上でさりげない促しを用いて丁寧にアプローチし、後で決めるオプションを提供しましょう。
- ・依頼している内容が、ユーザーが現在見ている画面や実行中のタスクに関連している場合は、サイト訪問者やアプリユーザーに対して直接アプローチしてください。

Example



ユーザーはこれに同意したことを思い出す？
最もクリティカルにユーザーに伝えるべきことは？それはどのようにログインオプションとインタラクションするか？



ユーザーはあとから抜けることはできるの？